

交流展

知覧特攻平和会館

第1会場 大和ミュージアム1階ガイダンスルーム
知覧特攻平和会館によるミニ企画展
「返ってきた特攻隊員の鉢巻」

×

大和ミュージアム

第2会場 大和ミュージアム2階特別展示ギャラリー
大和ミュージアムによるミニ企画展
「甲標的 呉と特殊潜航艇」

交流展 第1会場
返ってきた
特攻隊員の鉢巻

鉢巻 特別公開

昭和20年4月6日、多くの航空機パイロットが、沖縄の海で特攻戦死しました。その中の一人、岡部三郎少尉（戦死後の階級）が頭に巻いていた鉢巻は、戦後、元アメリカ兵から遺族の元へ返されています。この交流展では、知覧特攻平和会館が保管する鉢巻のレプリカを特別公開し、特攻隊員らの書き残した手紙などを紹介します。

知覧特攻平和会館

の“語り部”による出張講話

とき 2月17日(日)
14:00~ 15:30~
ところ 大和ミュージアム4階
入場無料 約40分

知覧の語り部が、特攻基地「知覧」から沖縄へ出撃した特攻隊員や、彼らの残した手紙などについて語ります。

平成31(2019)年 2月13日(水) ~ 3月25日(月)

呉市海事歴史科学館

開催場所

大和ミュージアム

第1会場 1階ガイダンスルーム 無料
第2会場 2階特別展示ギャラリー ※常設展観覧料が必要です。

主催 知覧特攻平和会館 〒897-0302 鹿児島県南九州市知覧町郡17881番地
呉市海事歴史科学館 大和ミュージアム 〒737-0029 広島県呉市宝町5番20号
問合せ先: TEL0993-83-2525(知覧特攻平和会館) / TEL0823-25-3017(大和ミュージアム)

返ってきた特攻隊員の鉢巻

戦艦大和が、沖縄へ向け山口県徳山沖を出航した昭和20年4月6日。その日の夕方、那覇沖合に停泊する米軍輸送艦カスウェル号に、一機の特攻機が体当たり攻撃に成功しました。しかし、爆弾が爆発せず船を沈めることはできませんでした。この時、カスウェル号に乗り込んでいた米軍軍医は、パイロットの遺体から鉢巻をはずしアメリカに持ち帰ります。昭和34年、日本の新聞を通じて、鉢巻の持主や送り主が判明し、遺族の元へと返還されました。



おかべ さぶろう

岡部三郎少尉

戦死年月日	昭和20年4月6日
部隊名	誠第36飛行隊
階級	少尉(戦死後の階級)
年齢	24歳
出身地	香川県
出身期別	青年航空団
出撃基地	新田原(宮崎県)
出撃機種	98式直接協同偵察機
戦死場所	沖縄西方海面

知覧特攻平和会館 (鹿児島県南九州市)



昭和16年、大刀洗陸軍飛行学校知覧分教所が、鹿児島県知覧町(現南九州市)に開校しました。戦闘機のパイロットを目指す若者たちが操縦訓練を重ねていましたが、戦況の緊迫する中、昭和20年に本土最南端の特攻基地となりました。

知覧特攻平和会館では、戦争の記憶が風化することのないよう陸軍特別攻撃隊として戦死した1036人(うち知覧基地からの出撃は439人)の遺影、遺書、遺品などを保存、展示しながら当時の証言等の調査を行っています。



知覧特攻平和会館



特攻勇士の銅像